



全長2.5メートルのオナガウツボ (白浜町臨海で)

珍しいオナガウツボ 京大白浜水族館で展示

白浜町臨海の京都大学白浜水族館は、日本最大種で南方系の珍しいオナガウツボの飼育展示を始めた。同館での飼育は2匹目。

6月下旬、田辺市江川の漁師から「タチウオ漁の仕掛けに見たことのないウツボが掛かっている」と連絡があった。全長約2.5メートル、重さ約3.6キログラム。

同館では1971年から73年まで、1匹を飼育したが、それ以来となる。

オナガウツボは最大で3メートルに達する。主に琉球列島以南の泥底に生息するが、まれに九州や四国、紀伊半島南部で発見されるという。